

# 中学校教科等研修講座(道徳)

教科等指導員 荒牧中学校 教諭 兼山 美由紀

担当指導主事：宮崎 大樹

キーワード：小中連携 道徳の教科化 評価

## 1 実施概要

| 実施月日      | 司会・助言              | 場所・形態                            | 演題(またはテーマ)      |
|-----------|--------------------|----------------------------------|-----------------|
| 7月18日(火)  | 荒牧中学校<br>兼山 美由紀 教諭 | 総合教育センター<br>5階メディアルーム<br>ワークショップ | 「道徳における評価について」  |
| 10月10日(火) | 荒牧中学校<br>兼山 美由紀 教諭 | 総合教育センター<br>5階メディアルーム<br>ワークショップ | 「道徳における評価について②」 |

## 2 主な内容

### (1) ワークショップ①(理論編) 7月18日

- ① 評価の観点について ～児童・生徒の成長をとらえる～
  - ア 一面的な見方から多面的、多角的な見方へと発展している点
  - イ 道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めている点
- ② 評価の資料について
  - ア 道徳ノート、ワークシート、作文等
  - イ ポートフォリオ評価(アをまとめたファイル)
  - ウ パフォーマンス評価
  - エ 面接・アンケートによる評価
- ③ 不安、疑問点等の交流
- ④ 文例から学ぶ
- ⑤ 次回までに例文に挑戦



### (2) ワークショップ②(実践編) 10月10日

- ① 文例紹介
- ② 資料をもとに文章評価の作成をする
  - ア 個人思考
  - イ グループで作成
  - ウ 班で作成した評価を交流
  - エ まとめ

## 3 成果と課題

### (1) 成果

- ① 昨年度の教科等研修講座の課題に対する取り組みができた。
  - ア 現場のニーズである「文章評価」についての講座を持つことができた。
  - イ 小学校の教員の参加があり、小中の交流をすることができた。
- ② 参加者が協力して文章評価を作成し、交流することで「効果的な文章評価の仕方とパターン」

を見つけることができた。

～効果的な文章評価の書き方～

- ・ 全項目をまとめた評価
- ・ 具体的な内容項目にしぼった評価
- ・ 道徳科における1学期間の生徒の変容や成長をとらえた評価
- ・ 生徒が書いた(言った)言葉を文章に使った評価
- ・ 自分だけでなく他の人と交流することで作る評価  
(注目する観点、表現の仕方の違い)

(2) 今後の課題

- ① 講座に小学校の先生に参加があることを想定していなかったため、今後は小学校の先生方の参加も想定して講座を準備する必要がある。
- ② 講座参加者は文章評価をするある程度の見通しを持つことができたので、学校全体として各担任が文章評価ができるよう学んだことを広めていく必要がある。
- ③ 通知表に所見とともに道徳の文章評価もするとなると、担任の負担が増えることや担任による違いが大きくなることも心配される。副担任を含め学校全体として、サポートしていくことを考えていく必要がある。
- ④ 小学校が来年度から先に教科化されるので、連携をさらに強め、今後も学び合う機会を持つ必要がある。